

# 文科省[大学改革推進室]に聞く!



文部科学省 高等教育局 大学振興課  
大学改革推進室改革支援第二係長

## 河本達毅

**かわもと かつぎ** ● 東京大学大学院 教育学研究科 大学経営・政策コース 修士課程修了。私立大学にてカリキュラム編成、履修管理、IR業務等に従事した後、2014年度より高等教育局 大学振興課、FD・SD、3つのポリシー、COC+事業等を担当し、2016年10月より現職。

# 2019年度で一区切りとなるAP事業。大学改革にどんな役割を果たしている?

## 大学教育の質的転換への挑戦をダイレクトに支援するしくみ

### — かつてのGP事業\*2との違いは?

企画の独自性が採択基準の一つになっていたGPは、社会や国民が望む大学改革とのズレを指摘されました。そこでAP事業は、国が求める教育のあり方や、社会に通用する人材の育成をめざす大学に支援する方針を徹底しています。本省の補助金で初めて申請要件やKPIを設定したのもそのためです。

### — 中小規模、地方の大学も多数採択されました。

COE\*3のような、卓越した大学による優れた取り組みを支援する補助金とは異なり、AP事業は改革の呼び水として使ってもらう補助金です。少額ながらより多くの大学を支援したい気持ちが込められています。例えばテーマVは、過去に採択された大学にはご辞退いただき、また入試日程や募集人員についての対応を申請要件から外して採択のチャンスを広げました。

ただ結果的に、採択校は全て入試関連の申請要件を満たしていました。2014年度の開始当初から流れを察知して改革を進めていた大学と、申請要件を見て初めて応募を検討し始めた大学との差が出たのではないかと思います。

### — 本年3月の中間評価では、最高評価の「S」が

全77件中14件。「甘すぎる」との声も挙がりました。

それでも厳しめに評価した結果です。採択後も血のにじむような努力を続けている各大学の様子が目に浮かびました。今後の課題は、各取り組みを大学全体の教学マネジメントにどう位置付け、改善していくのか、そのストーリーを示すことではないでしょうか。

## 幹事校を核とした横のつながりが各大学の特色化を促進している

— AP事業によって、日本の大学全体の改革はどれくらい進展したのでしょうか。

採択校からは「改革が進みやすくなった。金額は問わないからAP事業という枠組みだけは残してほしい」という声も聞きますが、全体としてはまだまだでしょう。ただ、認証評価なり改革総合支援事業なりによって改革のプレッシャーを感じた際に、「そういえば他大学がAPで何かやってたな」と気づく程度の存在感は出てきているのではないのでしょうか。

本事業の幹事校制度は、事業成果の波及に大きな役割を果たしています。幹事校を中心に地域や設置形態を問わず採択校、非採択校が連携し、成功やつまずきの事例を共有する。こうしたコラボレーションが、かえって個々の大学の特色化、自律的な運営を加速させているようです。

### — 今後の大学改革の方向性をどう考えますか。

世界では、高等教育システムのデファクトスタンダード争いが起きています。学修成果を保証する方法としてプログラムを積み上げるヨーロッパ型と、直接アセスメントしていくアメリカ型。日本はこの両方を取り入れ、独自の価値を築こうとしています。世界に類を見ない質保証システムを作るこの流れへの招待状の一つが、現在の補助金事業です。そう考えると、ワクワクしてきませんか。

## AP事業の推移とテーマ別選定率

採択件数/申請件数(選定率)

\*文部科学省資料を基に作成

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
予算	10億円	11.6億円	15億円	15億円	11.9億円	未定	未定
テーマI: アクティブ・ラーニング	9/94 (9.6%)						
テーマII: 学修成果の可視化	8/42 (19.0%)						
テーマI・II複合型	22/91 (24.2%)						
テーマIII: 入試改革	3/8 (37.5%)						
テーマIII: 高大接続	5/19 (26.3%)						
テーマIV: 長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)		12/38 (31.6%)					
テーマV: 卒業時における質保証の取組の強化			19/116 (16.4%)				
合計	47/254 (18.5%)	59/292 (20.2%)	78/408 (19.1%)				

\*1 Acceleration Program for University Education Rebuilding: 大学教育再生加速プログラム(AP)高大接続改革推進事業

\*2 Good Practice: 優れた教育改革の取り組みを支援した事業

\*3 Center of Excellence: 世界的研究拠点形成のための重点的支援事業